

【西粟倉村】 校務DX計画

西粟倉村では、GIGAスクール構想に基づき、令和2年度からICT環境の整備を進めてきた。しかしながら、教育現場では業務の複雑化や負担増加といった課題が依然として存在しており、効率的な校務運営が求められている。

これらの課題を解決するため、本村では教職員の働き方改革の一環として、校務のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進し、業務の効率化や負担軽減に向けた具体的な取り組みを進める。

（1）校務DX推進体制の構築について

校内のICT機器およびネットワーク環境整備と教職員のICT活用能力の向上と学習への積極的な活用を推進するため、令和4年度より「ICT支援員」を配置している。

（2）次世代型校務システムの導入

令和5年4月より統合型校務支援システムを導入し、校務処理の負担軽減を図っている。令和11年度までの次世代型校務システムの導入完了（更新）に向け、令和7年度から岡山県下での共同調達を踏まえた検討を開始している。

（3）FAXの利用・押印の見直し

既存電子ツールの活用およびクラウドツールを導入してFAXのやり取りや押印作業の見直しを行い、ペーパーレス化を行う。

（4）不必要な手入力作業の一掃

校務支援システム等の名簿情報の入力については、令和4年度より教育委員会で一括登録を行うことにより、合理的に取り組むことができている。

また、職員の出退勤管理システムを導入により、出退勤情報の入力作業の自動化を図っている。

（5）クラウドツールの利活用

クラウドサービスで職員会議資料を共有し、ペーパーレス化と事前情報共有による会議の質向上を図る。

保護者連絡アプリを導入し、欠席連絡機能では、保護者、学校共に簡略化や効率化を図っている。一斉連絡機能により、通信や連絡事項をデジタル配信することにより効率化及びペーパーレス化を進めている。

（6）学校徴収金管理のシステム化

学校給食会計の公会計化に伴い、令和7年4月より学校徴収金管理システムにより

運用管理を行う。請求データ作成、収納業務に加えて喫食数管理をシステム管理とする。併せて他の学級費等の学校徴収金もシステムにて一元管理する。

- ・ 学校給食費管理システムの更新
- ・ 学校徴収金管理システムの導入